

様々な事業に取り組みました



平成31年度事業計画・予算…2～3頁

第2次地域福祉活動計画…4頁

赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業…5頁

私の町のふくし人 Vol.17…6頁

介護保険課からの耳より情報…7頁

お知らせ…8～10頁

寄附者一覧…11～12頁

平成31年度

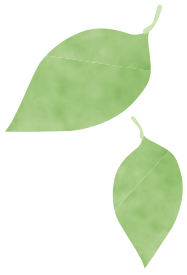
事業計画および

予算

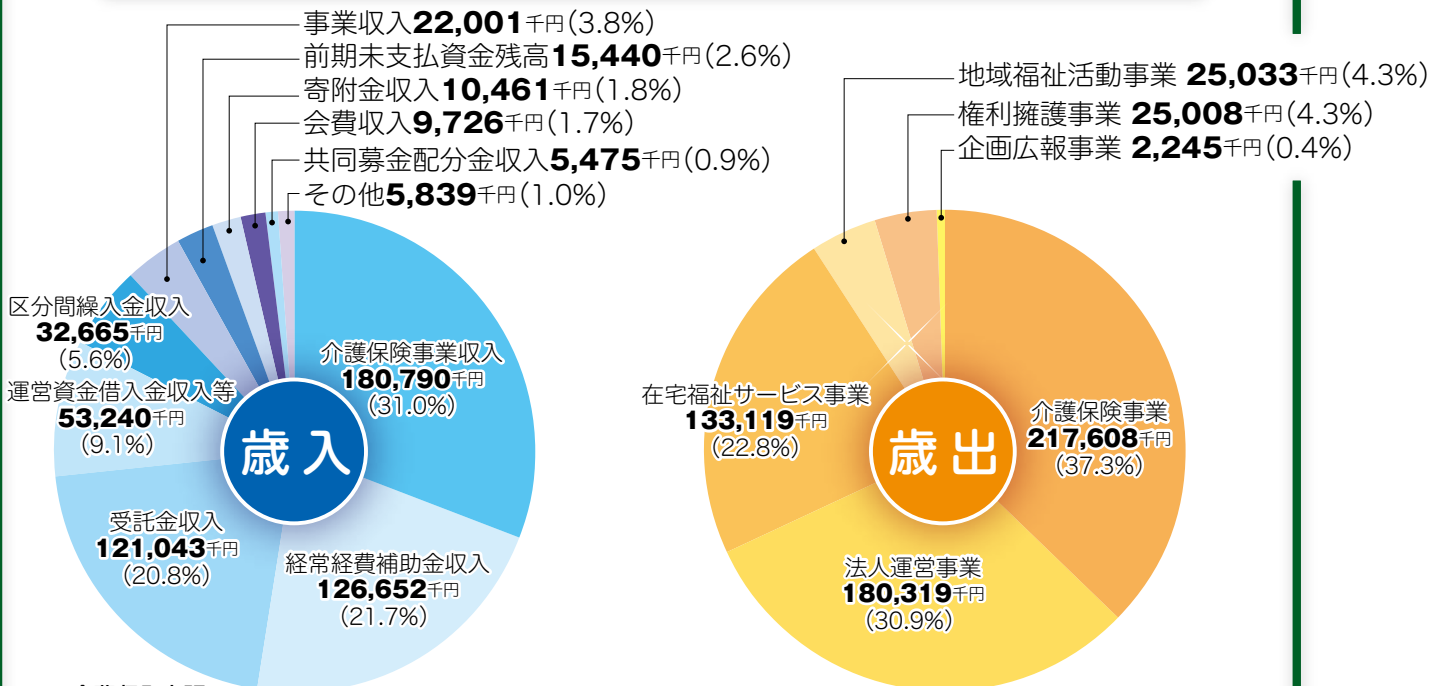
3月27日に評議員会を開催し、平成31年度の事業計画および予算などが議決されました。

平成31年度からは、第2次地域福祉活動計画を本市社協の地域福祉活動の羅針盤として、各種事業を推進してまいります。

特に、昨年の7月豪雨災害において、被災者支援を行うため開設した「高梁市災害ボランティアセンター」の運営を通じた課題などを整理し、災害に強い地域をつくっていくための仕組みづくりを行います。



● 予算の概要 社会福祉事業 583,332千円



- ※会費収入内訳
- 社会福祉協議会 賛助会員会費収入…9,326千円
 - 福祉移送サービス 会員会費収入…400千円
- ※その他内訳
- 障害福祉サービス等事業収入…2,797千円
 - 負担金等収入…3,042千円

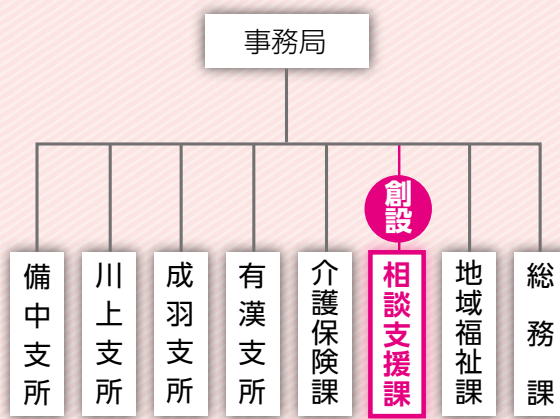
公益事業 108,815千円

- シルバー人材センター…90,181千円
- 総合福祉センター…18,634千円

平成31年4月

機構改革を行いました

相談支援課を創設し、生活困窮者や高齢者などに係る相談支援体制のさらなる充実・強化に努めてまいります。



相談支援課の主な担当業務

- ふれあい相談支援事業に関すること
- 日常生活自立支援事業に関すること
- 高梁市生活あんしんサポートセンターに関すること
- 生活福祉資金貸付事業に関すること など

平成31年度 賛助会員会費および 寄附金を財源とした主な事業

ふれあいのまちづくり事業

賛助会員会費**201**千円 寄附金**5,596**千円



[主な事業]
福祉委員活動の支援
各地区社会福祉協議会の活動支援

福祉活動助成事業

賛助会員会費**4,789**千円 寄附金**304**千円



[主な事業]
ふれあいサロンへの助成など

敬老事業

賛助会員会費**2,429**千円 寄附金**1,086**千円



[主な事業]
敬老会への助成、敬老祝い品贈呈事業(米寿祝いの肖像写真贈呈)

ボランティアセンター活動事業

賛助会員会費**182**千円 寄附金**838**千円



[主な事業]
学童、生徒のボランティア活動普及事業、福祉出前講座の開催、ボランティア研修会・夏のボランティア体験事業の実施、災害ボランティアセンター事業(新規事業)

企画広報事業

寄附金**2,245**千円

[主な事業]
広報紙の発行、ホームページの更新など

福祉活動推進事業

賛助会員会費**1,011**千円 寄附金**296**千円

[主な事業]
ふれあい福祉講座・福祉座談会の開催、地域福祉活動計画の推進

災害福祉事業

賛助会員会費**350**千円

[主な事業]
災害見舞金の支給

障がい児ひとり親児童福祉事業

賛助会員会費**361**千円

[主な事業]
障害者団体活動支援、子育て支援事業(子育てサロン)



基本理念

『みんなでつくる いきいきと暮らせる 愛のまち たかはし』
～ ささえあい・たすけあいのまちづくり ～

行動指針

第2次地域福祉活動計画を策定

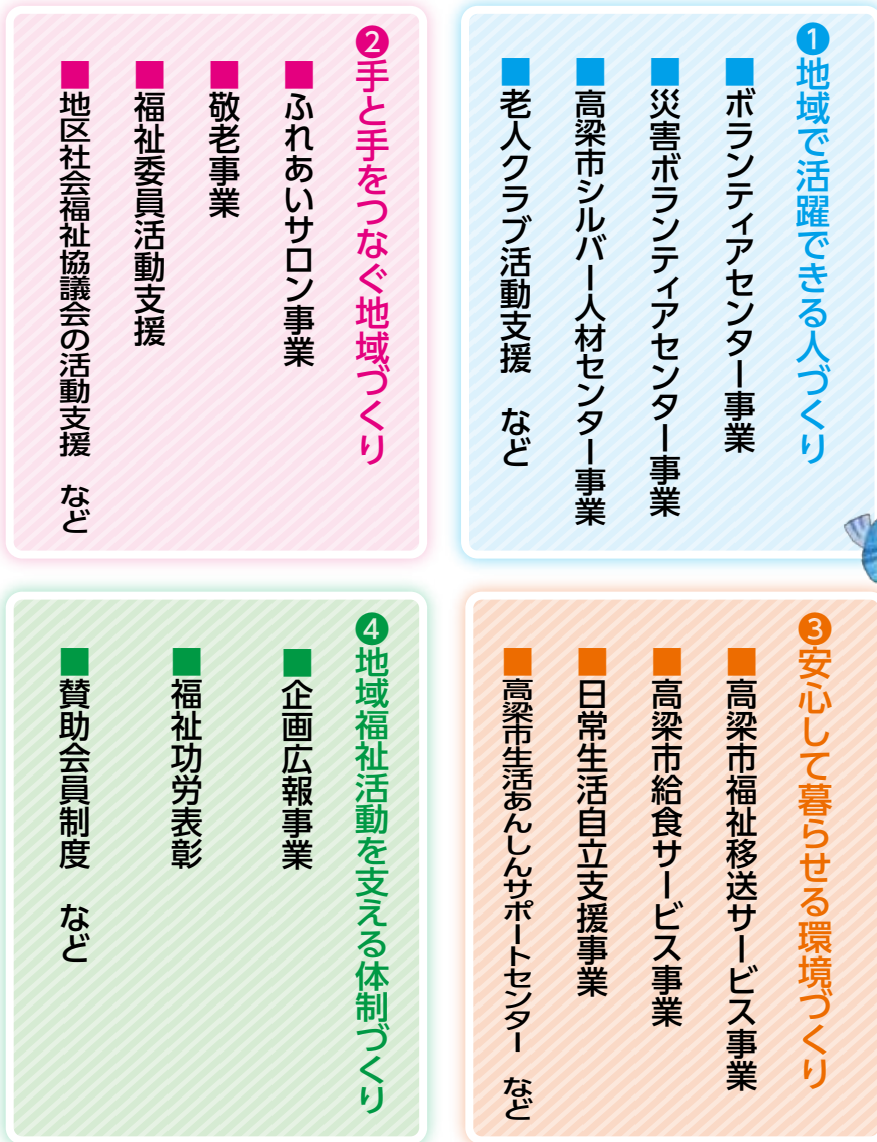
本会では、第1次地域福祉活動計画の完了に伴い、この度、第2次地域福祉活動計画を策定しました。
第2次地域福祉活動計画(期間：平成31年度～平成35年度)では、第1次の基本理念を踏襲し、4つの項目に整理した福祉課題の解決に向け、新たな基本目標を設定しました。

福祉課題

- 1 少子高齢化・人口減少に伴う人材不足
- 2 コミュニティ機能の再構築
- 3 福祉課題(相談内容)の複雑・複合化
- 4 社会福祉協議会活動への理解促進



基本目標と主な事業



本会は、「みんなでつくる いきいきと暮らせる愛のまち たかはし」
～ ささえあい・たすけあいのまちづくり～を目指して、地域の皆さんと
ともに地域福祉活動に取り組んでまいります。





赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業

～地域の安全・安心な暮らしを住民と共につくる活動を応援します～

高梁市共同募金委員会では、地域福祉の充実を図るため、住民相互の「たすけあい」地域福祉活動を積極的に取り組む団体や地域の安全・安心な暮らしを支える住民活動を支援しています。平成30年度活動に取り組んだ団体のうち、6団体をご紹介します。



地域の安全・安心な暮らしを住民と共につくる活動

自主防犯・自主防災活動

地域の安心安全を見守る活動や住み慣れた地域で安心して暮らせるように住民とともにつくる活動

川上地区社会福祉協議会



緊急時に活用できる救急医療情報キット

中井地区社会福祉協議会



児童の安全の見守り活動

住民相互のふれあいの拠点づくりに積極的に取り組む活動

定期的な地域の方々の居場所づくり、交流、情報交換等を目的として開催する活動拠点において声かけ見守り活動などの社会的な孤立の防止を図るためのふれあい活動

川面地区社会福祉協議会



松原地区社会福祉協議会



玉川地区社会福祉協議会



高梁地区社会福祉協議会



地域で開催しているコミュニティカフェの様子

私の町の
ふくしVOL.
17

ふくしとは、

- ふ ぶつう (普段) の
- く 暮らしが
- し 幸せであること。

とされています。

このコーナーでは、そんな福祉のまちづくりのために地域で頑張っておられる方を紹介していきます。



Masahiro Miyazaki

宮崎正弘さん

福祉の町川上町に生を受け70有余年、最初に福祉と関わったのは今から25〜26年前、職場勤めをしながら夕食のお弁当を配達したのが始まりでした。今でも当のお年寄りの喜んでおられた顔が目には浮かんでくるようです。福祉とは「人の幸せを運ぶ」まさにその通りでした。

現在、町内会の福祉委員を務めながら地域でふれあいサロンを始め、代表世話人をしています。私が住んでいる町内会は8戸(22名)しかありません。上大竹地区は10町内会110戸(240名)で75歳以上の高齢者が約90名、全住民の40%弱となっております。サロンは上大竹地区を対象に実施しており、種々情報交換をしています。

いきいきサロン上大竹をスタートして以来「健康であること」をテーマに、医師、体育指導員、薬剤師の方をお招きして講座を開いております。年末には門松を造り、3団体(社協、川上地域局、かわかみ療護園)への贈呈や、手打ちそばを作り出席できない独居高齢者などへ友愛訪問をしています。

私は民生委員を12年間務めさせてもらいその間驚いたことに認知症を発症された方が20名おられました。私の両親二人とも認知症を患い大勢の方にお世話になりました。いずれ私も年老いて皆さんの

お世話になる時が来ると思います。常に感謝の気持ちを忘れず、生涯恩返しを続け、皆さんがわが両親みたいな病気にならないようにサロンへ集い、地域の皆さんと共に喋って、歌って、笑って、健康になってもうることが認知症予防の一つであることの理解を深めるとともに、いきいきと暮らすことのできる地域づくりを目指し頑張っていきたいと考えています。



上大竹学区敬老会 実行委員長として挨拶



門松作り



いきいきサロンの様子

脳を鍛える「3つの生活原則」

原則1

「読み書き」と「計算」を生活の中で使うようにする。

原則2

人とのコミュニケーションを心がける。

原則3

手指を使って何かをつくる。



ポイント

2

文章を書くように心掛
まじまじしよう。

● 文章を書くことで脳が活性化します。
「手紙やはがきははちまつこと...」と
思われる方はメモを取る習慣を
つけてみましょう。



ポイント

1

一日に一度は文章を
声に出して読みまじまじしよう。

● 新聞や本などの短い文章を毎日声を出して読みまじまじしよう。
本を声を出して読むことも
おすすめです。



脳を鍛える

「5つのポイント」



脳の健康を保つために！

ポイント

5

好奇心・挑戦する心を持ち
続けまじまじしよう。

● 「挑戦する心」が大切です。
趣味や習い事にチャレンジしたり、友人・家族との旅行など
もよいことです。
「新しい料理を作る」ことなども脳の老化予防になります。



ポイント

4

外に出かけて、人とのコミュニケー
ションを心がけまじまじしよう。

● 家にもつてテレビに向き合つ生活は
脳の老化を進めてしまいます。
外に出て同世代の人はもちろん、
いろいろな世代の人と接まじまじしよう。



ポイント

3

そろばんや電卓を使わず
計算する習慣をつけまじまじしよう。

● 日常の中で計算する機会はたくさんあります。
買い物をした時のお釣りの計算、車のナンバー
のたし算・ひき算、家計簿は筆算でつける、電話
番号を覚える練習もよいでしょう。



人事異動のお知らせ

職員の人事異動がありましたのでお知らせします。

平成 31 年 4 月 1 日付

【異動】

新所属	氏名	旧任
事務局長	藤本 和義	事務局次長兼総務課長兼出納責任者
川上支所長兼川上デイサービスセンター生活相談員	江草 秀幸	事務局次長兼地域福祉課長
成羽支所長	宮本恵美子	川上支所長兼地域福祉課参事（地域福祉推進担当） 川上デイサービスセンター生活相談員
地域福祉課長	川上 麻美	地域福祉課課長補佐兼相談支援係長兼主任相談支援員
総務課課長補佐兼総務係長兼経理係長	宮本佐代子	総務課総務係長兼経理係長
地域福祉課課長補佐兼地域福祉係長	横林 史典	地域福祉課地域福祉係長
介護保険課課長補佐 兼訪問介護事業所課長補佐 兼巨瀬デイサービスセンター課長補佐 兼生活相談員	住吉 悦子	介護保険課主幹 兼訪問介護事業所主幹 兼巨瀬デイサービスセンター主幹 兼生活相談員
訪問介護事業所管理者	富彌としこ	訪問介護事業所主任
居宅介護支援事業所かわかみ主幹	高下真由美	居宅介護支援事業所かわかみ主任
相談支援課相談支援係長	久保 智子	地域福祉課相談支援係主任
相談支援課相談支援係主任	村上小代子	地域福祉課相談支援係主任
居宅介護支援事業所たかはし主任	服部亜希子	居宅介護支援事業所たかはし介護支援専門員
訪問介護事業所主任	三原 梨沙	川上デイサービスセンター介護員
川上デイサービスセンター主任	上田 孝子	川上デイサービスセンター看護師兼介護員
相談支援課主事	川上 由紀	地域福祉課主事

新任	氏名	高梁市役職
事務局参与	宮本 健二	健康福祉部部長兼社会福祉事務所長
事務局参事	大河 巨和	健康福祉部次長兼福祉課長

【新規採用者】

平成 31 年 4 月 1 日付

新任	氏名
事務局次長兼総務課長兼出納責任者	渡辺 嘉久
相談支援課長兼主任相談支援員	平野 悦子
地域福祉課主事兼相談支援課主事	河原 真恵
介護保険課看護師 兼訪問入浴事業所たかはし看護師 兼巨瀬デイサービスセンター看護師	田中美絵子

【退職】

平成 31 年 3 月 31 日付

氏名	旧任
野口 悦司	事務局長
堀 かおる	地域福祉課参事
藤原 俊孝	成羽支所長兼地域福祉課参事
池田 文子	介護保険課課長補佐兼訪問介護事業所管理者

レクリエーション用具の寄贈

高梁小学校児童会から、防災の必需品をカードで遊びながら学ぶことのできる、レクリエーション用具の寄贈がありました。これは、ボランティア活動の一環として取り組んでいるアルミ缶回収による収益金で購入されたものです。
寄贈いただいた用具は、ふれあいサロンなどの地域福祉活動に活用させていただきます。



寄贈いただいた防災グッズ・カードゲーム



高梁小学校児童会の皆さん

平成30年度 賛助会員会費にご協力いただいた法人会員

2月16日から3月31日までの受付分を掲載しております。ご協力ありがとうございました。(順不同、敬称略)

(高梁地区) ……陶山弘印刷所 株式会社 津々製作所

平成30年度 賛助会員会費について

市内外の多くの皆さまから賛助会員会費のご協力をいただきました。誠にありがとうございました。この会費は、「ふれあいサロン事業」「敬老事業」などの地域福祉活動を推進していく上で欠かせない貴重な財源となっております。市社協では皆さまとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせる「ささえあい・たすけあい」のまちづくりに積極的に取り組んでまいりますので、本年度も賛助会員会費へのご協力をよろしくお願いいたします。

平成30年度 賛助会員 協力の状況
(平成31年3月31日現在)

会員区分	件数(人)	金額(円)
普通会員	6,639	6,943,000
法人会員	272	864,000
ふるさと会員	93	352,500
特別会員	8	40,000
合計	7,012	8,199,500

『第3回 たかはし 高齢者・障がい者 なんでも相談会』

毎日の生活の中で、法律や福祉について困っていること、悩んでいることはありませんか。

この相談会では、安心して地域で生活できるように、法律や福祉などについてのご質問・ご相談、虐待や権利侵害に関するご相談などをお受けします。

●日時 7月13日(土) 午後1時～午後4時 ●場所 高梁総合福祉センター



米寿祝い品贈呈事業

米寿を迎えられる皆さんの長寿をお祝いし、記念品を贈呈しています。

▼贈呈の対象者

高梁市に住所を有し在住されている、昭和6年4月1日から昭和7年3月31日の間にお生まれの方

▼贈呈品

米寿記念の肖像写真
※市社協から対象者へ希望調査を行います。
写真の入れ物は台紙・額縁から選んでいただきます。

撮影日時などは、申込者の方へ川口写真館またはアサオ写真工房から直接ご連絡します。なお、贈呈は9月を予定しています。



寝具洗濯乾燥消毒事業

寝具洗濯乾燥消毒事業を7月と11月の2回実施します。第1回目の申込締切は、6月7日(金)です。

▼対象者

寝具類の衛生管理が困難で、次のいずれかの条件に該当する方

- ①一人暮らしの高齢者・障害者
- ②高齢者・障害者のみの世帯、またはこれに準ずる世帯の高齢者・障害者

▼対象品目

掛布団、敷布団、肌布団、毛布(シングル)の1セット(単品でも可)

※高齢者とはおおむね65歳以上の方、障害者とは身体障害者、知的障害者、精神障害者および難病患者のこと





2019 夏のボランティア体験事業



2018夏のボランティア体験事業は、7月豪雨のためやむなく中止となりましたが、今年は元気よく開催します。

この事業は、夏休みの期間を利用して市内の福祉施設や地域のボランティアグループなどへ参加しボランティア体験を行うものです。福祉やボランティアについて理解を深めることはもちろん、活動を通じてたくさんのお会いや学びがあります。ぜひみなさんご参加ください！



対象者

市内に在住、または通学している中学生・高校生・大学生

日程等

- ①事前研修会 : 7月20日(土) 午前9時～午後12時
- ②ボランティア活動 : 事前研修会後の夏休み期間
- ③事後研修会 : 8月24日(土) 午前9時～午後12時

※事前・事後研修会の会場は高梁総合福祉センターです。



ふれあい福祉講座

2019年度ふれあい福祉講座を次の日程で開催します。

この講座は、高齢者や障害者の方が地域で安心していきいきと暮らせるよう、地域住民が福祉に対する理解を深め、『ささえあいが日常的に行われる福祉のまちづくり』の推進を図ることを目的としています。

日 時 7月26日(金) 午後1時～午後4時30分

場 所 高梁総合文化会館

対 象 福祉委員、民生委員児童委員、地区社会福祉協議会関係者、ボランティア団体、ふれあいサロン関係者、お助け隊関係者など

備川成有相地
中上羽漢談域
支支支支支福
所所所所所援社
課課課課課課課

☎ ☎ ☎ ☎ ☎
4 4 4 5 2
5 8 2 7 2
| 3 9 2 1 2
1 7 0 2 1
3 7 0 1 4
1 0 5 8 3

お知らせについての
問い合わせ先

高梁市生活あんしんサポートセンター

市社協では経済的問題、健康問題、家庭問題などさまざまな問題を抱えている方々の相談に応じ、必要な支援などを行うための相談支援窓口「高梁市生活あんしんサポートセンター」を開設しております。

相談日などは次のとおりです。

場 所：高梁総合福祉センター

☎ 22 9111 (直通) FAX 22 0845

相談日時：月曜日から金曜日 午前9時から午後5時まで

休業日：土・日・祝日 年末年始



社会福祉協議会へのご寄附

ありがとうございました。

平成 31 年
3月～4月

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へ平成 31 年 3 月と 4 月にいただいたご寄附についてお知らせします。
心から感謝申し上げ社会福祉事業に活用させていただきます。
なお、金額等については寄附者の意向によって掲載しています。
(敬称は略させていただきます。)



【香典・玉串料・御花料返し】

《高梁支会》

《高梁地区》

金一封 正宗町 紫倉 清

金一封 津川町 横見 敦子
(故・昭子様)

金一封 南町 菅波 久恵
(故・重毅様)

金一封 総社市 藤本 克己
(故・豊次様)

金一封 新町 池上 敏夫
(故・和子様)

金一封 原田南町 大枝 節子
(故・信義様)

金一封 津川町 小野 誠
(故・郁様)

金一封 落合町 古舞 好宏
(故・信之様)

金一封 落合町 小林 啓一
(故・かずえ様)

金一封 鍛冶町 赤木 玲子
(故・幸一様)

金一封 中井町 竹本 久恵
(故・宏様)

金一封 津川町 小野 隆志
(故・ミッコ様)

金一封 上谷町 高務 純子
(故・貴夫様)

金一封 松山 川上 誠司
(故・幸司様)

金一封 南町 塩田 幸子
(故・聖二様)

金一封 松山 大岩 文夫
(故・スミコ様)

金一封 本町 三好美智子
(故・康之様)

金一封 津川町 滝口 久晴
(故・泉様)

《津川地区》

金一封 津川町 横見 敦子
(故・重毅様)

金一封 津川町 小野 誠
(故・郁様)

金一封 津川町 小野 隆志
(故・ミッコ様)

金一封 津川町 滝口 久晴
(故・泉様)

《川面地区》

金一封 川面町 藤森 康生
(故・清治様)

《巨瀬地区》

金一封 巨瀬町 大見 豊
(故・友子様)

金一封 巨瀬町 太田 春男
(故・壽夫様)

金一封 巨瀬町 上森 康弘
(故・次夫様)

金一封 巨瀬町 宮本 文夫
(故・弘子様)

金一封 巨瀬町 森本 政明
(故・甲子恵様)

金一封 巨瀬町 森中 正秀
(故・智津子様)

《中井地区》

金一封 中井町 竹本 久恵
(故・宏様)

《宇治地区》

金一封 宇治町 平野 好登
(故・堀江梅子様)

《落合地区》

金一封 落合町 古舞 好宏
(故・信之様)

《有漢支会》

金一封 上有漢 杭田 和男
(故・秀江様)

金一封 上有漢 山本 桃江
(故・実様)

金一封 有漢 山脇 寿
(故・年子様)

《成羽支会》

金一封 長地 若原 洋文
(故・壽様)

金一封 下原 池田 三根
(故・啓介様)

金一封 下原 瀬能 孝敏
(故・成美様)

《川上支会》

金一封 岡山市 後 利光

(故・和子様)

《備中支会》

金一封 西油野 藤井 文夫

(故・榮様)

金一封 長屋 川西 国子

(故・芳賀弘江様)

金一封 布賀 江草 純治

(故・恵美子様)

金一封 布瀬 高見 八重

(故・良一樣)

金一封 津川町 笹川 亀義

(故・清一樣)

【一般寄附】

《高梁支会》

《高梁地区》

金一封 匿名

(社会奉仕として)

第418回、第419回目)

金一封 下谷町

岡山県元職員共済協会高梁支部

(地域福祉推進に対する寄附として)

金一封 高梁市 匿名

(社会福祉事業に対する寄附として)

金一封 宇治町 野口 悦司

(退職にあたり)

《玉川地区》

金一封 玉川町 寄松 桂子

(退院内祝いとして)

《宇治地区》

金一封 宇治町 野口 悦司

(退職にあたり)

《落合地区》

金一封 落合町 堀 かおる

(退職にあたり)

《有漢支会》

金一封 有漢 細川 廣己

(退院内祝いとして)

金一封 有漢 嶋田 正幸

(退院内祝いとして)

金一封 有漢 児玉 昌子

(退院内祝いとして)

《川上支会》

金一封 下大竹 黒川 博義

(退院内祝いとして)

金一封 領家 池田 文字

(退職にあたり)

金一封 下大竹 堀江 明

(退院内祝いとして)

《備中支会》

金一封 布賀 山下 忠

(退院内祝いとして)

金一封 布賀 松岡 三郎

(退院内祝いとして)

編集後記

5月に入り、各地で田植えが進み、初夏の新緑のかおりや音が溢れる季節になりました。水ためをした田んぼに山や草木が映りこみ、植えたばかりの苗が風にゆれる景色は、日常の張りつめた気持ちを「ふっ」と緩めてくれます。心地の良いこの季節を楽しみたいと思います。

さて、今月号の広報紙では、本年度の事業計画と予算について掲載しております。

本市社協では「ささえあい・たすけあいのまちづくり」が日常的に行われる相互支援の地域社会実現に向けて各種事業に取り組んでいます。

皆さまからご協力いただいております、賛助会員会費・寄附金はサロン事業やボランティアセンター活動事業、敬老事業などの財源として活用させていただきます。

事業を通してお互い様の気持ちが広がればと思います。

次第に暑くなってきました。どうぞすこやかに過ごしてください。(K)



この広報紙は、寄附金の一部を活用して発行しています